

南アフリカ市場に新たにふそうブランド車両を展開

中型トラック FA を導入

2015 年 10 月 26 日

- ふそうブランドの中型トラック FA を戦略市場である南アフリカに新たに投入
- お客様の選択肢を拡大し、更なるマーケットシェアの拡大を目指します

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:マーク・リストセーヤ、以下 MFTBC)は、ダイムラー・トラック・アジア(以下、DTA)として協業する Daimler India Commercial Vehicles Pvt. Ltd (以下、DICV 社)のオラガダム工場で生産した FUSO ブランドのトラックを南アフリカ共和国にて発売を開始しました。

MFTBC は 2002 年以來、大・中・小型トラックを南アに投入しており、2002 年からはダイムラー AG の 100%子会社である Mercedes-Benz South Africa Limited(以下、MBSA)が販売を担当しています。

「南アは商用車の総需要がアフリカにおいて近年最も高く、当社の戦略的市場の一つです。ふそうブランドの車両は、既にケニア、タンザニア、ザンビアなどのアフリカ諸国に 2013 年より導入しており、その高い耐久性と燃費性能において評価を得ています。よりお客様に満足頂ける車両を展開することで、南アでの更なるシェア拡大を目指します」(MFTBC 取締役副社長兼セールス・カスタマーサービス本部長:ミハエル・カンパー)

MBSA とは

MBSA は南アフリカ、ハウテン州のスヴァルトコップスに本拠地を置き、メルセデス・ベンツの乗用車、トラック、バン、バスとスマート、またフレイトライナー、MFTBC とウェスタンスターのトラックの販売を行う Daimler AG 100%子会社です。MFTBC は車両総重量 5~26 トンの小型・中型・大型トラックを MBSA の East London 工場にて KD 生産を行っており、30 の拠点を通じて南アフリカ全土に販売しています。

2016 年 2 月にリージョナルセンターが南アに発足